



「優れた技術と最良のサービスの提供を通じて広く社会に貢献する産業機械メーカー」であり続けます。

平素より当社の経営に多大なご理解ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。2013年4月に当社の代表取締役社長に就任いたしました。これまでの経験を活かしながら、さらなる発展に向け全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

2013年3月期における事業環境は、海外では米国の景気が緩やかに回復しているものの、ヨーロッパは引き続き低迷し、アジアも拡大テンポはやや持ち直しつつも当面は低めの成長が見込まれます。一方、国内景気は緩やかに持ち直している状況です。

このような経済情勢のもと、当社グループは2014年3月期を最終とする3ヵ年の中期経営計画「E-Plan2013」の2年目として、より確実で安定した事業構造の確立に取り組みました。

この結果、売上高は先期よりも増収の4,263億円となり、営業利益250億円、経常利益256億円、当期純利益153億円となりました。

当社グループは、「E-Plan2013」に基づき、引き続き経営基盤強化の流れを推し進めるとともに、より確実で安定した事業構造を確立するべく、グループの中核事業において、グローバル競争力強化に取り組み、事業価値の最大化を追求していきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

前田 東一